

令和6年度学校関係者（学校運営協議会）評価報告書

西条市立橘小学校

1 主な意見

- 橘地域の方を講師に迎え、6年生との対話を通して地域への愛着を育てる活動として行った「ようこそ橘の先輩」の活動が素晴らしい。6年生の児童は、将来を見据えて自分の意見を言うことができている。
- 「ようこそ橘の先輩」で、「人生の生きがいとは何か」など親とは話しにくい内容を質問していた。将来を見据えて考えることができていた。
- 放課後子ども教室「たちばなあいちゃん教室」がとても人気である。上学年が下学年の手伝いや声掛けができていてほほえましい。縦割り班活動が充実している成果が出ている。活動の幅をひろげ、地域の方に来てもらいたい。
- みんな挨拶をしてくれて気持ちがよい。
- 挨拶が押しつけになっていないか。保護者から先に挨拶をし、それが浸透すればよい。
- 挨拶が自分からできているのが不安。
- はじめは挨拶ができていなかった児童ができるようになりつつある。成長を感じる。
- 「早寝・早起き・朝ごはん」があまりできていないことに驚いた。個々の家庭のことなのであまり言えないが、大切なことである。
- 低学年が下校時に、特に虫に興味があり、夢中になってしまう。安全面での懸念もあるが、虫の話（教えたり質問に答えたり）などをしながら帰るのも良いと感じてきている。1年生の成長を感じる。
- ちびっこ駅伝大会、メンバーが集まらないので出られない児童がいたが、小規模校にしてはチーム数が多かった。普段からの学校での体力づくりや児童間のコミュニケーションができていることが大きい。
- 学校評価は保護者にとってもいい刺激になっている。
- 性に関する教育の授業参観で、一人では生きていけないことや協力の大切さを指導していた。難しいが大切な内容であると感じた。
- 「ばら色の笑顔で挨拶橘っ子」の○に示されている内容について、指導する言葉掛けを変えていくことが大切で、とてもよい。

3 次年度に向けての改善

あいさつ運動を運営委員会が中心に行っている。給食時の校内放送での「今日のあいさつ名人」の発表に対する児童の興味関心は高く、励みになっている。継続して行うとともに、日頃から挨拶について考える機会を設けるようにする。

朝の時間を利用した縦割り班遊びを通して、異学年の交流や対話を行い、コミュニケーション力や対話力の向上を図ってきた。休み時間や昼休みに異学年で交流する姿も多くみられる。遊びだけでなく、異学年や地域の方と交流する機会を工夫していくことで、ともに伸び、感謝の気持ちを持つことができるような児童の育成を図る。

地域安全ボランティアの皆さんによる児童の安全な登下校のための地道な活動に感謝するとともに、児童から地域の方々への感謝の気持ちを形として伝えられる取組（友愛訪問、まもるくんの家

の訪問、ポーチュラカの贈呈等)を継続する。各学年が地域貢献活動として清掃活動を3月に行う。これらの活動を情報発信していくことで、保護者へ理解と協力を促し、家庭での教育にも繋げていく。

今年度の橘っ子ランドでは、コスモスの種蒔きの時期を遅らせたことできれいな花を咲かせることができた。米作りでは、例年よりも収穫量は減ったが、文化祭で販売することができた。さつまいも畑は、イノシシの被害もなく豊作だった。来年度は、橘保育園の園児との交流として苗を植えるときにも一緒に活動する予定である。橘っ子ランドの運営については、来年度も管理者や長寿会の皆様、PTAの育成部と協力し進めていく。

令和6年度より全面実施となったCSでは、「橘さわやかクラブ長寿会」を中心とした地域の協力体制を維持、継続していくとともに、公民館活動との連携、役割分担を明確にし、地域コミュニティを活性化するための新たな活動を実践してきた。学校サポートボランティアを保護者から募り、5名が登録している。学校休業日の水やりや学習の支援、行事の安全のための見守りなどの活動をお願いしている。今後もボランティアの募集方法や活動について検討していく。

4 おわりに

橘小学校は小規模校ではあるが、まもるくんの家への加入数が大変多く、地域全体で安全・安心な教育環境を維持、運営していこうという意識が高い。さらに、地域安全ボランティアによる日々の登下校の見守りや橘さわやかクラブ長寿会をはじめとする地域各種団体による学校行事への支援等、様々な場面での地域の方々のご理解とご協力により、教育活動を展開することもできている。今後も子どもたちの「ふるさと橘」を思う気持ちを大切に育てながら、地域とのつながりに感謝の気持ちを伝えて、よりよい教育活動を進めることができるよう、学校運営の改善と発展を図っていきたい。また、今回の学校関係者評価により提言いただいた内容については、学校、家庭、地域でさらなる共通理解を図り、相互に連携、協力し、学校の教育目標である「心豊かにたくましく生きぬく橘っ子の育成」の実現に向けて取り組んでいく。